

花粉開薬所盛況

12 2024年度
100%

今年のりんごの花の開花は、昨年より11日遅れて5月8日に確認されました。今年も農協本所倉庫に花粉開薬所を設置し、多くの生産者が花粉の開薬に訪れていました。近年、開花期間中の天候不順やマメコバチの減少が影響を及ぼしているため、結実の確保と良品生産を目的として人工授粉が行われています。

組合員は、王林や金星など風船状から開花直前になったリンゴの花を摘み取り持参し、薬採取機を使用して花から薬を取り出した後、薬に混ぜた花などをふるいで選別し、花粉を箱に敷き詰めます。加温した乾燥室で乾燥させた後、組合員へ引き渡していました。

ふるいにかけて花粉を採取する



リンゴの花を開薬機へ

ベトナム人実習生
りんご学習

4 2024年度
100%

5月8日、ベトナム実習生12名が五所地区の園地で摘花作業の実技研修会が行われました。

前半は、本所2階大会議室で齊藤大貴主任より資料と映像による事前研修をし、後半は、畑に出向き実技研修を行いました。

園主の三上専務も加わり、実技の説明を聞きながら参加者はぶじの摘花作業に励みました。

園地で農作業を安全に進められるように、傾斜地においての梯子の使い方についても学びました。



熱心に説明を聞く実習生



摘花を作業してみる参加者



園主であり、先生でもある

第二回 巡回講座開催

4 2024年度
100%

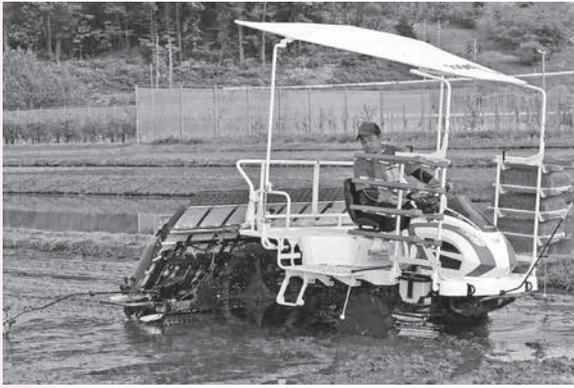
5月19日、相馬管内12箇所ですべて巡回講座を開催しました。109人の生産者が集まりました。

農業振興課職員や普及振興室職員より、リンゴの生育状況や、今後の作業計画、農作業事故防止について話を聞きました。そして、販売課職員より令和6年産のリンゴの入庫状況や販売の概況の説明に耳を傾けました。

巡回講座は6月中旬にも開催します。



説明に真剣に耳を傾ける



苗の植え付けを確認しながら..

5月19日、農協青年部は湯口地区の水田において、貴重な収入源であるもち米の植え付けを行いました。

部員たちは農作業の合同を利用して参加していました。開始当初にはトラブルもあつたようですが、無事に終了ホッとしていました。

植え付け後は、水の管理から刈取・袋詰めを青年部で行います。

年々リピーターが増加しているこのもち米は、秋に直売所「林檎の森」で販売されます。

青年部
もち米田植え



美味しいお米が出来ますように~

ライスロマンクラブがJA管内の田植えを行いました。

東部班が21~23日、牡丹班が26~28日と予定通りに終わりました。

天気にも恵まれ、作業は順調に進みました。

作業当番を担当した組合員は、苗の運搬や田植機のオペレーションなどを効率的に行いました。

災害なく実り豊かな秋を迎えるのが、今から楽しみです。

青天の霹靂 田植え



農業の活性化について話し合いました。

5月26日、中国の若手農業者17名が、当JAの選果施設や加工所など視察しました。

一行は、弘前周辺のアグリツーリズムの研修で当施設を訪れ、担当職員から説明を受けました。

夕方には、星と森のロマントピアにおいて三上専務や農協青年部員との交流会も開催され、日本と中国両国における農村部の課題など意見を交わしました。

中国農業者視察研修



農業の空容器も回収



豪雪で曲ってしまった支柱

5月28、29日の2日間にわたって、JA相馬村湯口支所と相馬支所において農業用使用済プラスチックの収集が行われました。

農業者による野焼きや圃場への野積み等不適正に処理するのを無くするための試みで、近年廃棄物の処理に関して社会問題化し、環境破壊や人体への影響も注目されています。

朝から使用済の容器や、反射シート、雪で折れ曲がった支柱などが持ち込まれていました。

農業用
使用済プラスチック収集

